

## 第1編 序論

### 第1章 計画策定の趣旨と視点

### 第2章 計画の構成と期間

### 第3章 計画策定の背景

#### 1 社会潮流の変化とまちづくりに求められること

- (1) 人口減少、少子高齢化の進展
  - ・本格的な人口減少期 / 高齢者世帯の増加 / 子育て世代、高齢者の安心
- (2) 経済のグローバル化と情報化の進展
  - ・世界とより密接になった経済 / 製造業の国際展開と高度な産業育成の課題 / 情報化の進展と人の行き来の活発化
- (3) 安全・安心な暮らしへの備え
  - ・東海・東南海地震への対応 / 犯罪の多様化・凶悪化 / 高齢者や子どもを狙った犯罪の多発 / 医療サービスの提供
- (4) 地球環境問題と地域での環境共生
  - ・温暖化、気候変動への対策、生物多様性の保全 / 省エネ・省資源、環境にやさしいライフスタイル / 環境への配慮が不可欠
- (5) 成熟社会の進展と格差社会の問題
  - ・価値観、ライフスタイルの多様化 / 文化の創出、生涯学習、社会貢献 / 団塊の世代への期待
- (6) 子どもを取り巻く社会環境の変化
  - ・家庭や地域の教育力低下 / いじめや不登校・児童虐待 / 犯罪被害や少年犯罪の凶悪化 / 社会のモラル向上が必要
- (7) 地域社会の再生と協働の推進
  - ・社会性や義務感・モラルの低下 / 地域力の向上 / コミュニティの再生とNPOとの交流 / 協働のまちづくり
- (8) 都市間競争の激化と広域都市戦略
  - ・交通基盤の充実と市町村合併 / 都市づくりの個性化 / 他との都市との連携強化・役割分担
- (9) 自立と分権型社会の形成
  - ・地方分権進展・権限と責任の増大 / 財政基盤の強化 / 職員的能力アップ

#### 2 データ及び市民意識からみた蒲郡市の現状と課題

現況調査	市民意識調査
<b>人口減少と少子高齢化</b> 平成元年 86,000人(住民基本台帳)から緩やかに人口減少し現在 81,500人 年少人口(15歳未満) 13.9%、老年人口(65歳以上) 21.3%(平成17年国調)、老年人口は25%目前 世帯数は約29,000増加傾向	<b>まちのすみやすさ</b> 8割が「住みやすい」と評価し、9割が今後も居住意向有
<b>財政</b> 財政力指数は改善が進んでいるが、依然として厳しい財政状況	<b>まちの将来像</b> 住環境の良さ、自然環境との調和、安全、活力あるまち等
<b>産業</b> 就業人口約44,000人(平成17年) 減少傾向	<b>施策の満足度・重要度</b> 「地域医療体制」「高齢者福祉」「子育て支援」「省エネ」「公害対策」「公共交通」「幹線道路」などの優先度が高い

### 第4章 蒲郡市の主要課題

- (1) 安心して暮らし続けることができること
- (2) 安全で便利に暮らし続けることができること
- (3) 個性を活かして産業の活力を高めること
- (4) 海・山の環境と調和して持続性を高めること
- (5) 独自の地域文化を守り育てること
- (6) 自ら学び地域で活躍する人材を育むこと
- (7) 参加と協働により自立を目指すこと

## 第2編 基本構想

### 第1章 まちづくりの基本理念と将来都市像

- 1 基本理念
  - 人と自然の共生 / 安全・安心・快適
  - 人づくり / 明るく元気 / 協働・交流
- 2 将来都市像  
**「(仮)三河湾に輝く 人と自然が共生するまち 蒲郡」**
  - 【三河湾】蒲郡市の魅力である海、私たちの暮らしに様々な恵みをもたらしてくれる海
  - 【輝く】蒲郡らしさが発揮されて個性ある魅力が輝く様子
  - 【人】蒲郡市に暮らし活動する市民・事業所・行政など、まちづくりの主役となる担い手
  - 【自然】国定公園、山、温泉、食などの豊かな自然資源
  - 【共生】相互の立場や特性を尊重し、ともに生かしあう持続可能な関係
- 3 基本目標
- 4 将来人口 目標8万人
- 5 土地利用の方針

### 第2章 施策の大綱

- 1. 笑顔で安心して暮らせる まちづくり (健康・福祉)
  - 健康づくり 地域医療 子育て支援
  - 高齢者支援 障がい者支援
  - 生活自立支援 保険・医療費助成
- 2. 賑わいと元気あふれる まちづくり (産業)
  - 農林業 水産業 工業 商業・サービス業
  - 新産業 観光 競艇 雇用 消費者保護
- 3. 安全で快適な魅力ある まちづくり (都市基盤・安全)
  - 道路 公共交通 市街地整備 住宅
  - 都市景観 港湾・海岸 河川・排水路
  - 消防・救急 防災 防犯 交通安全
- 4. 美しい自然を未来につなぐ まちづくり (環境・生活基盤)
  - 公園・緑地 自然保護・緑化 環境保全
  - 環境衛生 循環型社会形成 地球温暖化対策
  - 水資源 下水道
- 5. こころ豊かに夢をはぐむ まちづくり (教育・文化)
  - 学校教育 生涯学習 文化・芸術 スポーツ
- 6. 市民とともに歩む まちづくり (協働・行財政運営)
  - 市民協働 地域コミュニティ 男女共同参画
  - 多文化共生 地域情報化 広報・広聴
  - 広域行政 行政 財政

## 第3編 基本計画

### 総論

#### 1. 基本フレーム

- 1 計画の目的
- 2 計画の期間
- 3 計画人口と世帯
  - (1) 人口
  - (2) 年齢別人口
  - (3) 世帯数
- 4 就業構造
  - (1) 産業別就業者数
  - (2) 交流人口など

#### 2. 土地利用構想

- 1 土地利用の方向
- 2 土地利用構想図

### 重点施策プログラム

- 1 安全・安心環境づくり
- 2 快適交流基盤の展開
- 3 幸せ健康長寿の地域社会づくり
- 4 地域経済を築く新産業の育成
- 5 広域協調共創の戦略
- 6 公共施設マネジメント

### 部門別計画

6つの基本目標に基づき、48の基本施策ごとの具体的な施策内容を記載する

## 資料編

策定経過  
 審議会  
 策定体制  
 市民意識調査結果概要  
 市民まちづくりワークショップ  
 結果概要  
 用語解説 など

